

◆レイパワー、強靱化大賞最優秀賞、LPガス非常用電源が評価

レイパワー（本社・東京、立川計社長）は4月21日、第12回ジャパン・レジリエンス・アワードの強靱化大賞で、最優秀賞を受賞したと発表した。同社の非常用LPガス発電機「RAYPOWER 3kVA／40kVA」が「災害時にも途切れないエネルギー供給を実現するLPガス非常用電源インフラ」として高く評価された。



同アワードはレジリエンスジャパン推進協議会（会長＝広瀬道明・東京ガス相談役）が主催し、全国で展開されるレジリエンス社会構築への先進的な取り組みを表彰する制度。強靱化大賞は、防災・減災・国土強靱化に資する技術、製品、サービスなどの開発、販売を実践している企業、団体、地方自治体を表彰する。

同社は活動について「LPガス非常用電源の開発に加え、災害時に給排水ポンプを稼働させるための電源を荏原製作所と共同で開発し、さらにトヨタ・ハイエースに搭載した電源車を国内で初めて実用化するなど、現場の実情に応じた個別対応を積み重ねてきた。定型にとらわれず、お客さまと社会に求められる形を一つひとつ丁寧に形にしていくことで、社会に確かな力をもたらす存在でありたい」とコメントした。